

## 令和4年度第2回 千葉県ICTアドバイザー会議 開催結果（概要）

- 1 日 時 令和5年3月27日（月）15時30分～16時50分
- 2 方 法 オンライン（Zoom）  
※県側及び傍聴等は、県庁本庁舎5階大会議室で対応
- 3 出席委員 庄司委員（座長）、荒川委員、今泉委員、小池委員、白澤委員、宮入委員、山口委員
- 4 議事概要 庄司座長の議事により進行

### 事務局からの説明

- (1) 千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略について

### 各委員からの意見概要

#### 【山口委員】

- ・千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略（以下「戦略」。）は、よくまとめたと思う。大変なのは、これからだろうと思う。
- ・チャットGPT等の技術革新が目覚ましく、情報収集を幅広く行う必要がある。
- ・人材育成の具体的な手法が見えてこないで、今後検討する必要がある。
- ・一般的に、組織図ができると、各組織は自らの分掌・権限に意識が行き、サイロ化しがち。横軸を通すためには、ガーディアン（守護神）が必要。そのガーディアンの下、組織が一体となるようなデザイン、マネージャーをどう考えるのか。マネージャーを具体的なバイネーム（個人名）で考えていく必要がある。そして、情報共有ができる形にしながら、前に進めていくことが一番肝要な部分になる。

#### 【荒川委員】

- ・戦略は、ポイントが非常にわかりやすく、見る人に届くデザインになったと思う。施策集も、具体性をもって理解しやすい資料になっている。
- ・デジタル人材の育成確保が課題。戦略を実行する人材がいなければ、絵に描いた餅なので、一番のポイントになる。
- ・方法論は様々あるが、実現に向けた人材をどこにどれだけ配置するための教育が重要。
- ・「自らの課題抽出及び解決力の向上に向けた研修」とあるが、研修内容をすぐに実践に移す環境をつくる、また、職員が共通認識を持っている事項をテーマとすることも大切である。
- ・さらには、自律的な研修を促すために、コミュニティによるノウハウの共有や、知識を共有するインフラの確保などの環境整備も必要である。

#### 【今泉委員】

- ・資料の見た目は重要であり、人と地域もどちらも頑張るということ、人に着目してDXを推進するということが伝わる戦略であると考えている。
- ・デジタル化の3段階、デジタイゼーション、デジタルイゼーション、デジタル・トランスフォーメーションの区別が出来ていて良いと思う。

- ・DXをやろうとしても、なかなか人がついてこない。組織はこれまでのやり方をなかなか変えないので、デジタル技術に合わせて改革することを検討するというのを、トップダウンで、しっかりやってほしい。
- ・施策集の取組が、デジタル化に留まるものが多いが、これはやむを得ない面もある。DXの気づきに至ることは難しい。スモールスタートでも実践を継続することで実際のDXが見えてくるのではないかと思う。

#### 【小池委員】

- ・チャットGPTなど世の中に勢いがあるので、毎年の見直しは必須である。
- ・デジタル技術の機能が高まっているのは非常に良いことだが、人間が持つ考える力、わくわくすること、デジタル技術の活用により生じた余白、人のつながり等を合わせて取り組んでいくことが重要であると思う。
- ・産業とデジタル技術のかけ合わせは非常に大きなチャレンジであり、渋谷区でも地域通貨ハチペイの実証を行っている。どちらかというDXと距離のあった方々が、率先して取り組むことによって、わかりやすく売上が伸びたり、デジタルを通じたお客様との繋がりを感じていらっしゃったりしている。
- ・加えて、エリア・業種ごとのマーケティングに活用するなど、データを良く活用できるのではないかと思う。
- ・千葉県における取組を楽しみにしている。

#### 【白澤委員】

- ・コードフォージャパンは、意思決定の民主化、デジタルの民主化が考え方の中心にあり、行政研修、データ連携基盤の推進、アイデアソン等を実施している。
- ・DXの推進を支える土台づくりは、オープンバイデフォルト、オープンになっていることが基本という考え方が必要である。オープンデータの推進も含めて情報公開を推進することが、意思決定の民主化につながると考える。
- ・データ連携基盤を民主的に形成することで、様々なプレーヤーが参入可能になる。
- ・会議は一方通行のものが多いが、デジタルツールを使うことで、よりオープンな意見公開、運営を検討するのも良いと思う。
- ・専門の部局のみではDXは進まないなので、各部局の推進リーダーは重要である。CIO補佐のような外部の方をバイネームで選び、職員に刺激を与えるのも良いと思う。推進体制が定まった後に外部の方を登用という順序が大切だと思う。
- ・これらの前提として、人材育成は非常に大切であると思う。事例の勉強会や手を動かす研修を是非実施してほしい。今までエンジニアの方しか使えなかった技術がここ数年で誰でも使えるようになってきているので、実践を行う研修が重要になる。
- ・先進的なことを行っている市町村があり、横展開することで推進されると思う。
- ・千葉県らしさのある取組について、次回以降に検討、説明してほしい。

#### 【宮入委員】

- ・非常に期待が持てる戦略であるが、数点気になることがある。
- ・担当課が実現に向けて邁進すると、シナジーが生まれず、部分最適になりがちである。部門間をつなげるマネジメントが求められる。DXが掲げる新たな価値の創造や組織変革

には、高度なコミュニケーションが求められる。関係性がアイデアを生み出す。

- ・行政のDXに係る施策が、他と比較すると次元が一つ落ちるのではと感じる。他の団体でも、紙データのエクセルへの置き換え程度に留まる事例が多い。行政のデジタル化を、戦略性、スピード感と強制力を持って進めてほしい。考える時間や新しいことを目指すための時間を確保するためにも、足元のデジタル化を優先的に進めてほしい。

#### 【庄司委員】

- ・戦略のデザインが非常に良くなった。デザイナーは、デザインを通して、次の行動を促すことができるなど、いろいろな役割を担えるはずである。
- ・戦略に、目標値の記載がない。アジャイルに改善するならば、どこまで達成し、そのギャップをどう埋めるかと考える必要があり、目標値があったほうがよい。見直しの方法も入れておいたほうがよい。
- ・推進体制について、アドバイザー会議も含めて、どのように動かすのかなどが重要。見直し評価も、どう動くかが重要。そこを入れないと、魂が入らないのではないか。
- ・ガーディアン（守護神）の顔が見えることが重要である。毎日のように行政のデジタル化がニュースになっていることの要因として、デジタル大臣の顔が見えることは大きいのではないか。

#### （２）その他

\*事務局からの説明はなし

#### 【荒川委員】

- ・施策集の取組は、幅広い分野かつハードルが高いものである。県のDX推進に対して、限られた資源であるが、協力したい。

#### 【今泉委員】

- ・行政のDXは、身近なことなので解像度が高くなり、先のことが言いにくいということだと思うが、頑張ってもらいたい。
- ・千葉大学は、県内唯一の国立大学であるので、是非人材的な面でも協力したい。

#### 【小池委員】

- ・他県の参考にできることを取り入れて、それを超えるチャレンジをしてほしい。千葉県独自の新しいDXを楽しみにしている。
- ・街づくりをテーマとした組織におり、人材育成という観点も含めて、多様な方と交流しながら携わりたいと思う。

#### 【白澤委員】

- ・シニア世代の方とお話すると、チャットGTP等の昨今のデジタル技術を勉強する必要があるというコメントをいただく。
- ・いままで障壁と考えていたが、実は障壁ではないことが多々ある。建設的な意見を持っている方が非常に多い。是非、交流の仕方もトランスフォーメーションしていただければと思う。

### 【宮入委員】

- 行政が本気にならないとついてこない、変化は起こすのは大変だが、一度起きれば変化後の状態が当たり前になる。今後、このサイクルが速くなると思う。DXの推進を固い意志で実行してほしいと思う。

### 【庄司委員】

- デジタル以外の分野も、人材は不足している。人が減っており、段々深刻になってくるので、早く対応したほうが良い。
- 人に注目した戦略なので、多くの人材を発掘し、つながって、活躍の場を広げていただきたい。
- 新しく直面する技術・問題については、若手だけではなく全ての人が学ぶ必要がある。その観点からも成長する戦略にしていければと思う。